

コザ十字路

The Book about history picture scroll of KOZA

歴史絵巻

解体新書



1600㎡の沖縄最大の壁画



Take one Free!!

2015年10月発行

発行：沖縄市商工振興課



コザ十字路歴史絵巻の誕生

History picture scroll of KOZA where it's on a street

Now

未来へ

◀ 8ページへ

1960年~
70年代コザの庶民の台所として
大きく発展していった時代1960
年代黒人街として
栄えた時代

◀ 7ページへ

1945年~
50年代チャンプルー文化が芽吹く
戦後米軍統治下時代

◀ 5、6ページへ

15
世紀越来グスクの
時代を巡る

◀ 3、4ページへ



コザ十字路に 壮大な歴史絵巻

コザ十字路に大きさ約1600mにも及び、琉球歴史絵巻とも呼べる巨大な壁画が誕生しました。壁画作成のきっかけは、国道330号の拡幅工事に伴い、大きく表れた壁により、景観が損なわれたことにありました。「このままでは、街が朽ちてしまう」と強い危機感を感じた住民と市が何度もワークショップを重ね、その壁を、沖縄市コザを伝える歴史壁画にする事に決めました。



歴史と アイデンティティ

「忘れてはいけない歴史と沖縄市のアイデンティティ」をテーマに据え、2014年3月に壁画の制作が始まり、天候不良や台風に見舞われながらも、職人が二つつ手描きで作成し、2015年1月にコザ十字路の巨大壁画は完成しました。

この壁画は、「越来グスクの時代」に始まり、「戦後米軍統治下の時代」「黒人街として栄えた時代」「庶民の台所として発展していった時代」を経て、現在の商店街へと移り変わるまでが絵巻として表現されています。

また、一匹の龍が時代を橋渡ししており、時空を泳ぐ龍は、「コザ十字龍(ロン)」として、これからも未来へ泳いでいきます。



尚泰久

SHO-TAIKYU

琉球王国の安泰を築いた王

仏教に帰依し、多くの寺院を建て、巨鐘を鑄て喜捨した人物としても知られています。また、大世通宝（たいせつうほう）という銅銭や万国津梁の鐘を鑄造した事でも有名な王です。

※歴史絵巻マップ参照

尚宣威

SHO-SENI

幼くして父母を失い、兄・金丸（のちの尚円王・第二尚氏・初代国王）に付き従って首里に移り住みます。兄の尚円即位後は、越来間切の領主となり越来グスクに居城しました。



鬼大城

※歴史絵巻マップ参照

UNI-UFUGUSHIKU

越来グスク城主にまで登り詰めた男

鬼大城（大城賢雄）は、尚泰久の娘、百度踏揚を当時の夫である阿麻和利（勝連城主）のもとから救出後、王から討伐軍の指揮を命じられ、阿麻和利を討伐します。しかしその後、金丸（第二尚氏・初代尚円王）のクーデターにより、攻め立てられ知花グスクにて自害したそうです。



越来グスク跡公園

琉球王国最初の統一政権を築いた第一尚氏の六代目の王である尚泰久の居城で知られるグスクです。現在では公園になっており、そこに大きな城があったと思わせる思わせる建物や遺物が数多く出土しております。

※歴史絵巻マップ参照

越来グスクの繁栄と役割

越来グスクは、沖縄市コザ十字路近くの小高い丘の上にあり、書物の中で越来グスクが確認出来るのは、1471年に編集された『海東諸国記』の中の「琉球国之図」にて「五欲城」と描かれているのが最初です。

このグスクは、第一尚氏・第六代の王となる「尚泰久（シヨウタイキユウ）」や、勝連城の阿麻和利を討つた「鬼大城（ウニウフグシク）」、さらには第二尚氏・第二代の王である「尚宣威（シヨウセンイ）」も居城するなど、戦乱の琉球史の中で重要な位置を占めていました。王朝の天下が安泰になると、その後17世紀までは今言う役所としての機能を果たしていたそうです。

現在では他のグスクに見られるような城壁などはありませんが、周辺で発掘調査が進められており、貿易陶磁器等が発掘されています。

戦後沖縄市の歴史を知るにはここ！



沖縄市戦後文化資料展示室 ヒストリート

沖縄市中央1-17-17
098-929-2922 (FAX兼)
営業 11:00-19:00
定休 月曜、祝祭日、慰霊の日、年末年始
運営 総務部総務課市史編集担当



沖縄だけで使われた通貨 B 円

B円とは、米軍が発行したB型軍票のこと。戦地や占領地で通貨の替わりに用いられたもので、米軍は日本占領を想定し、3億枚以上のB円を印刷したそうです。58年9月の米国ドル通貨制への移行に伴い、B円は姿を消しますが、その期間に沖縄経済の基地依存体質が作られたと言われています。



米軍の道具を利用して作られた生活用品など、終戦直後からアメリカ文化の影響を色濃く受けた「コザ文化」を体感出来る様々な生活用品が並んでいます。



チャンプルー文化が芽吹く 戦後米軍統治下時代

1945年～
50年代



米軍統治下と 沖縄芸能の隆盛

越来グスクがあった当時の地形は今よりさらに数十mの高さがあったそうです。その上に石垣や礎石が残っていました。沖縄戦において米軍は本島上陸後、すぐさま越来グスクを占拠し、グスクは石垣だけでなく地形ごと崩されました。

また機を同じくして、「沖縄のチャップリン」と呼ばれる小那覇舞天など沖縄を代表する芸能者がこの地域一帯で活動を始め、最も「笑い」が困難な時代に「笑い」を提供し、喜劇の神髄を極めていきました。

この米軍統治下という地域性と沖縄芸能の盛り上がりがあり、「チャンプルー文化」の興る基盤となつていきます。

黒人街だった照屋の地域は、同時にこの地域に住む庶民の台所としても、大きく発展していきま
す。1978年にアーケードが整備され
ると、銀天街は最盛期を迎え、当時
125件の商店が軒を連ねていました。

黒人街を近隣に据える銀天街は、外
国人向けの飲食店や衣料品店が多く
立ち並び、バイデイ（給料日）とも
なると、外国人の買い物客で夜中まで
賑わっていたそうです。また、地元
の台所としても発展していったこの
街は、食材や日用品を買いに地元
住民も多く往来し、特に旧暦のシ
チビ（節目・旧暦行事の日）にも
なると、ご馳走を買い求めて全島
から人が集まり、今でもその名残
りがあります。

地元可愛される コザの台所

コザの庶民文化もまた 発展していった

1960年~
70年代



1960
年代



黒人街として 街は栄え...

公民権運動と 本土復帰運動

この時代、コザの街には、胡屋エリアに白人街、この壁画があるコザ十字路エリア（照屋）には黒人街がありました。当時、人種差別を受けていた黒人もここでは、幅を利かせ、黒人にとってたまにユーロピアだったそうです。そして、アメリカ本国で起こった公民権運動のうねりはここ照屋にも広がり、「黒人は優れている」という意味の合言葉「ブラック・イズ・ビューティフル」が広まることとなります。

このような、黒人の文化や音楽、人種差別撤廃運動や公民権運動と直に触れたこの地域の若者は、自分たちの置かれている状況にフイードバックさせ、その後のコザ暴動（コザ騒動とも）や本土復帰運動へと繋がります。

ガイドと巡る
**コザ
まち
まーい**

沖縄市では、地域の方が案内をする「観光ガイド」を行なっております。沖縄市の歴史や生活にふれる「まちまーい」は、地元のガイドだからこそ提供出来るディープなスポットをご案内致します。今までに無い観光をお楽しみ下さい。

2名から
催行可能
要予約
有料

問合せ・ご予約
**コザインフォメーション
センター**
tel: 098-939-4845
定休 | 土、日、祝、年末年始
営業 | 10:00~18:30



越来の白椿

尚泰久が越来王子として越来城に居城していた時、村の娘、世利休(セリキュウ)との間にできた子どもの誕生記念に白椿とミカンの木を植えたといわれています。

飛び安里生家跡

飛び安里(安里周當と安里周祥であるという二つの説がある)は、弓の弾力を利用した飛行機を発明し、泡瀬の海に面した断崖から飛んで成功したという伝説が残っています。この伝説が本物だとするとライト兄弟より100年以上も前に飛んだことになります。



西森公園

かつて越来ノ口(越来巫)が司祭していた祠で、その中には「ウガン南之御嶽」「ウガン西之御嶽」「ウガン之大御嶽」「西森之御嶽」と刻まれ各地から移築された石碑があり、地域住民の祈りの場所となっています。 ※越来小学校の西北側に位置

越来の殿内跡

かつて尚宣威王の子孫が代々暮らしていた場所と口碑で伝えられており、現在では、その子孫の門中である湧川門中の拝所となっています。 ※未来工科高校の南側に位置



コザの歴史をもっと知る!

Want to know the history of KOZA!!

ガイドと一緒に、さらに歴史と文化に触れて下さい。



尚宣威王の墓

尚宣威王は、尚円王(第二尚氏・初代国王)の弟で、尚円が王位につくと、越来間切の領主となり越来グスクに居城しました。尚円の死後、世継ぎの息子の尚真が幼かったことから、次の王位につくが、尚真の母、宇喜也嘉(オギヤカ)の策略で、わずか半年で退位に追い込まれ、その後、越来の地に戻り隠居生活をおくります。 ※写真は、尚宣威王の墓と言い伝えられています。



越来グスク跡公園

標高80mの住宅地の高台にあり、沖縄市の街並みを一望することが出来ます。戦前は、まだコザ十字路付近も開発されておらず、泡瀬の海まで見えたという証言もあります。



鬼大城(ウニウフグシク)の墓

鬼大城は尚泰久の家臣です。尚泰久の娘、百度踏揚のお供で勝連城へ行くも、当時その夫で勝連城主である阿麻和利の謀反を知り、王府軍を指揮して討伐。その功績により、越来親方として越来城主となり百度踏揚を妻に迎えました。本名は大城賢雄と言い、鬼大城とは通称名です。 ※知花城跡内